

下沢区防災会訓練活動

災害発生想定

「2020年11月 5日午前8時30分、東海沖地震発生しその規模は、マグニチュード8.2と推定され、南房総市では震度6弱を観測した。沿岸部では大津波警報が発令され、第一波到達予想は8時50分、住民に対し避難を周知した。」想定津波高15m煎餅屋さん下まで押し寄せる。

避難誘導班

下沢区防災会、津波等緊急避難組織図・組別班編成表により、班長が班員に声をかけながら避難する。

訓練活動

- ① 特に3・4組への素早い避難行動の呼びかけ（拡声器使用）、要援護者支援班との連携活動。
- ② ライズリゾートホテルへの避難。
(いざというときの為に、避難行動要援護者に対し事前に避難訓練に参加してくれるようお願いする。)
- ③ 安否確認終了、津波警報解除後、他班へ積極的に応援。

情報班

各組の人たちは第1集会所へ避難するも、数人確認出来ない。

訓練活動

- ① 安否確認訓練、避難が終わり津波警報解除後、各組長と情報班、避難誘導班、要援護者支援班と協力し2、3人編成で、各組同時に避難訓練に参加しなかった家庭へ数軒訪問し、安否確認をしながらトランシバーで逐一、情報班長に報告する。その結果を会長又は副会長に報告する。
同時に下沢区の被害状況（家屋の倒壊、怪我人等）を調査し報告、するとともに、必要に応じて救出救護班に出動を要請する。

消火班（初期消火）

熊野神社東側、山火事発生、神社に飛び火しそう、2分団消防車は津波よる瓦礫とブロック塀倒壊の片付けで、すぐに来られそうもない。

訓練活動

- ① 第1集会所前、消火栓を使い放水訓練。
- ② 第1集会所炊事場付近で出火、第1集会所裏の貯水槽の蓋を開け、消火バケツリレー消火訓練。

救出・救護班

情報班の調査報告により家屋が半壊しタンスの下敷きになっている人がいるとの報告有り。

訓練活動

- ① 防災倉庫から機材を持って救出に向かう。（ジャッキ、大バール、チェーンホイストの使い方訓練。）
- ② 怪我をした人の応急処置をし、担架、リヤカーに乗せ第1集会所内へ搬送訓練。

要援護者支援班

避難誘導班と連携し津波発生想定での訓練では、地震後15分以内で自宅から避難所までの経路上で、自助で玄関先まで来ていれば「同伴避難」。津波を想定しない訓練も同時に行う。

訓練活動

- ① ライズリゾートへの避難誘導。
- ② 第2集会所有る車椅子とリヤカーを使い避難訓練。
- ③ 安否確認終了、津波警報解除後、他班へ積極的に応援。

給食・給水班

30名が第1集会所での避難生活となる、停電、プロパンガスも少ない。

訓練活動

- ① かまどを作り（1箇所当たりブロック12個）、炊き出し（おにぎり）訓練。
- ② 金慶寺の井戸を使用。

※第1集会所、大広間35畳・10畳2間、避難所としては20人位。